リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度　事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80.0%	20.0%		・活動の内容・、プログラム、利用するお子様にあわせて指導訓練室を交代したり広くしている。 ・グループと個別を時間で分けながら効率的に使用できていると思う
②	職員の配置数は適切である	100.0%			・定員に対し相当な配置数である ・利用児それぞれの様子をみて職員の配置を考えられていると思う
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40.0%	40.0%	20.0%	
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40.0%	60.0%		・スタッフ間のコミュニケーションを密に情報共有を意識している。また、自己評価を取り入れ一人ひとりが業務に対し目標を設定し振り返る機会を設けている ・活動の振り返りは時間がないので仕方ない部分もあるができれば複数人で取り組み、改善点や指導の狙いの共有は新人教育には必要だと思う ・グループでは年間計画を作り、スタッフ全員が共通の目標を持って関わらないと統一した指導ができないので必要だと思う 【対応】新人教育については、指導するスタッフをたてスタッフ育成に努めていきます。また、各グループの療育計画目標を明確化したうえでスタッフ全員が共通認識の上、サービスを提供できるよう構造化していきます
⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	80.0%	20.0%		・昨年度の評価表で足りていなかったこと等をリストアップして今年度の事業計画に入れた ・保護者へのフィードバックを丁寧に行い信頼関係を築き保護者の抱えている思いをキャッチできるよう気をつけている ・今年は防災訓練も取り組み改善はしているとは思う
⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	80.0%	20.0%		
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20.0%	40.0%	40.0%	・機会があれば評価を受けたいため、今後検討していきたい
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80.0%	20.0%		・研修はしているが、主体的な学びになっているようにはあまり思わない 【対応】社内で実施しているベースアップ研修、月1回の事業所間の勉強会、新人療法士の教育プログラム（ケース検討）を等して、主体的な学びに繋げていってほしいと思います

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度　事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100.0%			・フィードバックで様子を聞くことでニーズの確認をしている
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしている	60.0%	40.0%		・KIDSや遠城寺などのバッテリーを適宜しようしている ・アセスメントツールを使用しているが必ずではなく主観的評価になってしまっている点もある
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%			・グループ制作を曜日制にし、個々が考える機会を設けられている ・活動プログラムはリーダー、机上課題担当（曜日固定）を主として設定していくが、利用児一人ひとりに対する支援内容や支援の量はスタッフ間でコミュニケーションをとり活動の目当て方向性を確認している ・相談できる環境つくりを心掛けている
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	40.0%	40.0%	20.0%	・スモールステップで能力の発達を促していくことからプログラムが固定化してしまう。時々、感覚遊びを取り入れるなどの変化をもたせるなど工夫している ・利用児の様子を共有して話し合って内容を調整いている
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80.0%	20.0%		・利用児にもよるが、学校の疲れもあることを頭にいれて用意した課題全てをやるのではなく様子をみて何パターンか用意している
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100.0%			・全ての利用児に適応できているわけではないが集団と個別を利用している児は集団の中で見られる困り感を個別でフォローする課題としている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80.0%	20.0%		・朝の会を毎日行い、役割分担、連絡事項、情報共有する機会を設けている ・毎回、内容は共有して話し合っている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有している	40.0%	40.0%	20.0%	・支援終了後の全員では打ち合せが難しいため、記録を確認し把握してもらう ・時間がないと1人で振り返りすることにはなるが事前に自分が見れていない部分について担当者に確認したり、全体に気になった事柄は共有するようにしている
⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80.0%	20.0%		・記録をするスタッフの確保はできているが、次のプログラムの準備をするために他スタッフが十分に振り返りに参加できてない。 【対応】プログラム準備の時間を設定し記録に入る人数を確保していきたいです

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度　事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100.0%			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	60.0%	20.0%	20.0%	・ガイドラインを把握していない 【対応】ガイドラインの総則等を知識として得る機会をあえて設けていき、スタッフ一人ひとりがガイドラインを理解し支援の質を上げられるよう改善していき
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80.0%	20.0%		
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	40.0%	40.0%	20.0%	・機会がないため取り組んでいない
㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		100.0%		
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に務めているか	100.0%			・必要に応じて訪問し連携を図っている ・情報共有ができることは保護者を通じて伝えている
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40.0%	20.0%	40.0%	・機会がないため取り組んでいない
㉕	児童発達支援センターや発達障碍者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40.0%	40.0%	20.0%	・機会があれば受けたい
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		100.0%		
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		60.0%	20.0%	

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度　事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っている	100.0%			・保護者が理解できるよう専門用語は使わず解りやすく丁寧に伝え、共通理解に努めている ・フィードバックで確認するようにしている
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	60.0%	20.0%	20.0%	・口頭では相談に応じて対応を伝えているが、実際に関わり方をみてアドバイスしているわけではない 【対応】今後、ペアレントトレーニング等、家族支援プログラムについて検討していきます
㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%			・契約時に説明をしている
㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%			・傾聴、受容、共感の3原則、保護者に寄り添う姿勢を意識しつつ、必要な助言と支援を丁寧で分かりやすいものになるように伝え方を工夫している ・毎回、フィードバックをする機会を設けている
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40.0%	40.0%	20.0%	・保護者会については検討していきたい
㉝	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	80.0%	20.0%		
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	60.0%	20.0%	20.0%	・フィードバックの際に活動内容を伝える ・口頭だけでなく書面で残せるようにプリントでお知らせをしている。日々の様子は写真を用いるなど具体的に伝えられるようにしている ・instagram、ブログ等で情報を発信している。今年度は定期的に発信ができなかったため、発信時期を明確にし定期的に発信できるようにする
㉟	個人情報の取り扱いに十分注意している	80.0%	20.0%		
㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%			具体的に子どもの様子や関わりに対する反応をフィードバックするように気をつけている
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	60.0%		40.0%	

リニエプラッツ吉祥寺

令和5年度　事業所向け放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	80.0%	20.0%		・決まってはいるが、全員が周知しているとは言えないと思う 【対応】緊急時に対応するための必須事項であるため確実に職員、保護者に周知していきます
㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40.0%	20.0%	40.0%	・避難訓練の経験が少ない幼児のグループ対象に広域避難への引き渡し訓練を実施 ・定期的な間隔は決まっていない 【対応】年間計画をたて定期的に防災訓練をおこなっていきます
㊵	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100.0%			・アセスント用紙に服薬等の記入欄を設けている ・診断がある子に対しては保護者に確認を取っている
㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80.0%		20.0%	・社内の必須研修にて虐待の講義を毎年受講している
㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40.0%	40.0%	20.0%	・機会がないため取り組んでいない
㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	60.0%		40.0%	・アセスメント用紙に、食物アレルギーの有無と注意事項について記入欄を設けている。ある場合は、スタッフ間で共有 ・指示書はないが保護者の確認はとっている
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	40.0%		60.0%	・報告書はあげているが、事例集になっていない